

平成十九年度
今治明德短大

歩き遍路体験学習レポートから

②

宮本 憲二

(社会人学生)

けふもいちにち風を
あ
るいてきた 山頭火

昨年は今頃、ふと書店

で手にしたNHK趣味

悠々の雑誌を見ながら

「どんな気持ちで炎天下苦

労して歩いているんだろ

う?仕事を休んでこんな

ことが出来る人は羨まし

い……などと考えていま

した。近くに四十三番明石

寺があるのですが、無信

心な私は数年に一度の初

詣以外足を運んだことは

ありません。そういう私

ですから「四国遍路とは、

今から一〇〇年前にお

大師さまが修行された足

跡をたどり、八十八カ所
の聖地を巡拝すること」
から始まった学習です。



横峰寺から香園寺に
向う明短生

後悔、痛み、会話、余裕、感動

四十四番大寶寺から六
十一番香園寺までの一五
六キロは年老いた私に
とって不安もありますが、
(若し)学生とのふれ合い
など講義以上に期待して
いるところでもあります。
定年でリタイヤし、ま
さかの大学生。記憶力も

ほとんど口に入らず、考
えもなく水を補給してい
ました。夕食を終え、倒
れるように横になりました
たが、朝まで熟睡はでき
ませんでした。
二日目、七時長珍屋を
出発。本日も猛暑の中の
お遍路。足はパンパンに
はりテープ・サポータ・
シップ薬で痛み止め。太
山寺参道で痛みは最高
潮、しかし自分なりの歩
き方が分かってきたよう
です。徳永先生から水水
のお接待、勇気づけられ
ました。夕食の美味し
かったこと、歩き遍路に
感動です。朝まで熟睡で
きました。
三日目、遍路歩きが少
し分かってきたようで

伊藤先生に白衣製作の
指導をしていただいた頃
から「本当に歩くんだろ
うな」と思いつつ、やや
不安な体調を気にしなが
ら初めてのミッション作
業でした。夏休み、リュック
を背に毎日二万歩の目標
をたて、イメージトレ
ニングを重ねました。

体力も衰え、四苦八苦の
の古木に感動しながら、
道中の無事を祈る余裕も
ありません。三坂峠付近
から遅れはじめ、下りの
旧遍路道ではもう限界で
した。なぜこんな苦しい
選択をしたのか、後悔と
浄瑠璃寺までたどり着け
るかの心配で頭は真っ白
です。昼食のおにぎりも

です。会話を楽しみながら、
海岸の美しさに見とれ、
給水の仕方少し管理で
きるようになりました。
泰山寺では同級生の応援
を受け、その心遣いに感
動しました。今宵は初め
の宿坊泊り、仙遊寺か
らの夜景は最高。
四日目、路程が短い
で余裕の歩きができてま
した。温泉施設でケア、今
夜も熟睡できました。
最終日、五月遍路で歩
いた横峰寺への胸突き坂
が待っている。不安でも
あり、少しの期待もあり
ました。佐伯先生のお父
さん(九七歳)、奥さん
とその仲間たちからのお
接待は、鳥肌のするような
嬉しい感動でした。最
終目的地の香園寺到着、
「ジイ、頑張り」と初孫
の写真入りメールを毎日
送ってくれた娘家族の幸
福を祈願しました。
最高の感動を与えてく
ださった明短の先生・関
係各位、沿道で応援して
くださった皆さんに感謝
しています。いろいろ反
省はありますが、最後に
無心で歩けたことは事実
です。なぜ歩き遍路なの
か?まだはつきりとした
結論はでていません。し
かし、定年後の勉強の意
味など、漠然とではあり

ますが見えてきたような
気もしています。